

# たんぽぽだより



2018年11月号

朝晩は寒くなりましたね。鼻水・咳が出ている子が増えてきました。熱が出てお仕事中にご連絡することが、たびたび出てしまい申し訳なく思っています。

入園の時に話したように、こころとからだはつながっているの、子どもにとって一番のお薬は、お母さん・お父さんにたっぷり甘える事です。**安心すること**で血管が緩み血流が良くなり、免疫力がUP↑するのです。『あ〜大事にされてる』と感じる事が、病気を治す一番の治療法です。

暗示についてのお話を最近聞いたのですが、おなじ「大丈夫」という言葉でも、心配そうな顔で『大丈夫？(〇\)]』と言われるのと、『大丈夫！!(^^)!』と言われるのでは受け取るメッセージがちがうのです。安心できる言葉一つで免疫力は確実にUPします。確信を持って大丈夫という言葉をかけてもらえば安心します。

暗示は言葉と態度で受け取っています。例えば最近スマホが無いと不安になるという人も増えているようですが、スマホにメッセージが来た時すぐに反応しますよね。

お子様に対しても同じようにすぐに、反応すれば問題ないのですが、つい「あとでね」となってしまう事が、いつも起きる事でスマホより大事にされていないと無意識の部分で感じてしまいます。普段たっぷり愛情をかけて接していても、ほんの小さなことの積み重ねで「大事にされている」事が感じられないと自己肯定感は下がってしまうのです。

だから免疫力をあげて病気に負けない体づくりと自己肯定感を上げるためにも、お子様にはたくさんの**安心の暗示**をかけてあげてください。

保育サロン  
たんぽぽ

## お知らせ & お願い

•これからはインフルエンザなどの病気も流行って来ます。身体が強くなれば病気にもかかりにくくなりますので、**食事**(**玄米ご飯とみそ汁と季節の食材**をたくさん摂ること)と**運動**(**歩くことや外で遊ぶこと**)と**衣服の着せすぎ**に注意して病気に負けない身体づくりをしようと思います。(下着は綿やウールの自然素材の**肌着を着せるほうが保温性に富み**薄着でも風邪を引きにくいそうです。また**Tシャツは通気性はいいですが夏の衣料ですので保温性が無い**ので寒いです。肌着の着用をお勧めします。動きが制限されるので半袖が良いです)

•お迎えの時車から離れるときは、車のエンジンは急に動き出すことがあるかもしれないので、切っておいてください。

ごみ置き場のところが、お迎えの車が多い時など、離合しにくい時があります。とのことごみ置き場のところに車がいっぱいの際は、保護者駐車場を使ってください。5時過ぎがたて込むのでもし早く来れる場合は早めに来ていただくとうれしいです。よろしくお願いいたします。

## 今月の目標:秋の自然をたのしむ

ねらい: 元気なからだづくり 手洗いうがいをする。

つぼみ組【0歳児】: 戸外遊びや散歩を通して秋の自然に触れる。保育者に見守られながら好きなあそびをじっくり楽しむ。

もも組【1歳児】: 友達との関わりを楽しみ一緒に過ごす喜びを感じる。

ゆり組【2歳児】: 秋の自然に触れ、驚きや感動を味わいながら元気な体づくりをする。

## 今月の保育内容

### 養護

つぼみ組: ・発達や家庭での生活を考慮し、静と動のバランスや調和を図るようにする。

- ・安心して探索活動をしたり、体を動かしたりできるよう、安全な環境を整える。自分の気持ちを受け止めてもらい、安心して表すことができるようにする。

もも組: こまめに検温し一人一人の健康状態を把握する。子どもの甘えや要求に対して、応答的にかかわり落ち着いて過ごせるようにする。

ゆり組: 一人一人の生活環境を把握しながら、子供の欲求を適切に満たしながら言葉かけを行う。自分でやろうとする気持ちを受け止め、出来たことをみんなで褒めながら自信につなげていく。

### 教育

つぼみ組: 体を十分に動かして遊び、安定した生活リズムで安心して眠る。保育者に手伝ってもらいながら、スプーンを使ってよく噛んでたべようとする。保育者の仲立ちで、友達と関わって遊ぶ。片言・喃語に答えてもらう楽しさを感じる。戸外で自然に触れて遊ぶ。保育者と一緒に手遊びやうたを楽しむ。

もも組: 保育者が一緒に食べ食材について話したり、おいしそうに食べる姿を見せたりして、食事を楽しむ中で食べる意欲が育まれるようにする。子ども同士のやり取りを仲立ちしたり、一緒に遊んだりして楽しさを共有しやり取りや遊びが広がっていくように配慮する。風の冷たさを感じたり、落ち葉の上を歩いたりして、自然に触れる機会をつくる。

ゆり組: 楽しい雰囲気の中で時間内に食べられるようにする。手洗いうがいを習慣づけ元気に過ごせるように一人一人の健康管理につとめる。同じ遊びを楽しむ中で友達と衝突した時にも相手の気持ちに気付く。応答的なふれあいや言葉かけを通して、コミュニケーションを深めていく。秋の自然に触れながら、自然物を探したり、見比べながら様々な発見を楽しむ。自然物と絵画の融合を楽しみ、みんなで1つの作品をしあげる。